

修練会 気になる 1冊 (ほん・本・ブック)

公益財団法人豊島修練会 2018年6月21日号 (通算第19号)

子どものほん (子ども、小学生&中学生)

ちひろ作・ちひろ絵「ちひろの詩(うた)」 絶版ですが図書館などで閲覧可能。

いわさきちひろ美術館が、東京都練馬区下石神井 (☎03-3995-0612) にあります。また、ちひろさんは長野県出身だったので長野県北安曇郡松川村 (☎0261-62-0772) にも、いわさきちひろ美術館があります。

ちひろさんは、さし絵をたくさんかきました。その絵は、子どもたちだけでなく大人も感動するすばらしいものです。

「ちひろの詩」は、詩も絵もちひろさんがかいためずらしい絵本です。今から48年前に「こどもの世界」という本に紹介されました。「どんな詩と絵かって?」、それは本物の絵本で楽しんでください。



大人の本 (パパ&ママ、ジジ&ババなど)



原作吉野源三郎・漫画羽賀翔一「漫画 君たちはどう生きるか」

マガジンハウス本体 1300円

子どもが小学校高学年や中学生になると、自己主張が強くなり、親と素直に会話をしなくなる傾向が出てくる。親が、じっくり話をしようという気になっていても、あれこれあって、その機会を失ってしまうことがしばしばである。

この本は、主人公のコペル君が、おじさんとのやり取りを通じて「どう生きるか?」を考えるようになるという話である。導入の漫画と、それを補う短い文章、そして箇条書きのポイントが、実に分かりやすい。

この本を中において親子で話し合ってもいいし、お互いに読んで感想を言い合ってもいいし、親の小中学生の頃の話を話して、子どもの感想を聞いてもいいと思う。もしかしたら「生き方」や「人生」を語り合うきっかけづくりになるかもしれない。

学校の先生のブック (小学校・中学校の先生)

梶浦真著「振り返り指導の基礎知識一質の高い授業づくりを支える理論と実践」

教育情報出版社 本体 907円

新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の実現を求めている。これまでに、「主体的な学び」と「対話的な学び」については、けっこう実践してきた。でも「深い学び」については曖昧なことが多く、これから研究していかなければならない状況にある。

自分が解決した過程や結果を振り返り、批判的に検討して考察を深めたり、多面的に分析したりしてよりよい解決や深い理解につなげ、次の学習へ発展させる。本書は、このような事柄について、「意図的、計画的、継続的な振り返り」を提言している。(BOKE 三宅)

★備考★なお、話題提供のために本を紹介しているだけで、購読を勧めるものではありません。[成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」「メッセージ」「Q&A」「気になる1冊」をはじめ「一字荘」「至楽荘」「成美教育文化会館の会場貸出」など様々な情報が閲覧できます。ご利用ください。

